

本年度副幹事であります大島君のお父様であられます大島克己パスト会長が 2010-11 年度に地区補助金事業としてやられました「出前授業」が発想の基であります。RI 職業奉仕モデルプロジェクト賞を受賞された素晴らしい事業でありました。

犬山市内、扶桑町内の全 6 校へクラブの会員が「働くとは」というテーマを基に 1 時間の授業を受け持ち、生徒さん達にそれぞれの職業、職業に対する熱い思い、更には人生観までも交えた授業をされ、職業観もだそうと普段の仕事着を着て教壇に立たれる方も見えました。



私も扶桑中学校、扶桑北中学校と受け持ちました。職業分類 土木技師でありますので、勿論作業服、ヘルメット着用、足元は安全靴であります。当時何を話したのか記憶は定かではありませんが、私の事なのでおちゃらけた話で笑いを取ろうと努力したのはないかと思います。

そんな中、生徒さん達に質問いたしました。「自分のお父さん、お母さんがどんな仕事で働いているのか」と。クラスメートの 3 分の 2 程度のお子さんは知らなかったのです。大変な驚きでした。

幼い頃から学校の休みの日には親と一緒に現場に連れていかれ、砂遊びをしながら仕事を終わるのを待っていた私は、いつしか大人になったら土木の道に進むのが当然で自然な事でありました。途中道を外れ、色々な遊びの寄り道をした時期がありましたが、今は立派な土木技師になりました。

授業の前に生徒さん達と食べた給食はとても美味しかったです。出前授業が終わり 1 ヶ月ほど経ったある日、町内で仕事をした私に「稲垣先生」と授業を受けた生徒に声を掛けられ、何とも気恥ずかしく嬉しく感じた思い出があります。

あれから 10 年、学校教育の中で「キャリア教育」の重要性が認められ、充実した教育環境になっております。今後、会員の皆さんの中から選ばれた方にはその授業を期待している生徒さんの為、よりその職業に対する熱い思いを語っていただいて、第 2 の「稲垣先生」になっていただければ幸いです。またクラブとして、皆でその事業を共有していきたいと考えます。

詳細につきましてはこの後の安田奉仕プロジェクト・社会奉仕委員長による事業計画発表にて報告されます。

ロータリー米山奨学生(グエン ティ フェン・チャンさん)



奨学金(7月分)を授与しました

◇グエン ティ フェン・チャンさん ご挨拶



みなさん、こんにちは。本日は簿記の勉強について話したいと思います。

私は今年の三月から日商簿記三級を勉強始めました。私は数学が得意ではないので簿記を勉強する時ベトナム語で勉強してもなかなか理解できなかったです。どうやって合格できるのか私は計画しました。一日アルバイトがあっても二時間で簿記を集中して勉強しました。四ヶ月勉強続けて昨日受験しました。結果は 69 点でした。一点足りなかったです。頑張って勉強したのにあと一点で足りないのはちょっとがっかりしました。原因は勉強不足だと思います。

でも自分で振り返ってみたら、今まで私は一回でやって成功したことはないです。ロータリー奨学金に合格するまで私は 3 回落ちました。それで今日結果を見た時にちょっと落ち込んでいましたが合格できるまで勉強続けたいと思います。以上です。

事業計画発表 ◎クラブ管理運営戦略委員会(加藤 浩一委員長)



本年度、当委員会は、加藤委員長、小川嘉吉副委員長、安田一生委員の 3 名体制で活動します。

1. クラブ管理・運営

クラブの機能を充実させるために、クラブ内で委員が取るべき行動に関わることを管理・運営し、クラブ奉仕に属する各委員会が、より活発に活動ができるようサポートし、理事会への橋渡しをします。

2. 会員選考

会員の多様性を図るうえで、つり合いの取れた会員組織の推進のため、新会員にふさわしい人材を「DEI」〔ダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平性）、インクルージョン（包括性）〕の観点も含め発掘するよう努めます。また今年度は、女性会員の獲得に尽力したいと思います。女性会員は1名だと、何かと参加しづらいと思いますので、複数人同時に入会いただくのが良いと思います。

3. 職業分類

ロータリークラブが原則とする職業分類組織を基本とし、充填・未充填の職業分類を意識したうえで、時代に即した職業を発掘するよう努力します。

4. 資料保存

クラブの活動記録や資料は、諸事業の継承や検証のためには重要かつ不可欠です。また周年事業にとっても大変貴重な足跡の重要な資料となります。このような趣旨からもクラブの諸活動に関する資料の保全整理に努めます。

5. 他委員会との協力

他の委員会と協力し、クラブ戦略委員会を開催し、会員の意向、クラブを取り巻く環境の変化を見極め、クラブの進む方向性を見出す場を提供します。

◎奉仕プロジェクト・社会奉仕委員会 (安田 新平委員長)



本年度、奉仕プロジェクト・社会奉仕委員会委員長を務めます安田です。

まずは、委員会メンバーを紹介いたします。副委員長の真野健二さん（真野さんには、社会奉仕事業の分野を担当して頂きます）、そして委員に奥村正幸さん、山根雄司さん、野村憲治さん、以上5名。次いで昨年度より新たに犬山クラブが導入（所謂事業系の委員会全体を内包）し、新たに発足させた奉仕プロジェクト委員会に加わっていただくメンバーを紹介いたします。

（先程の5名に加えて）職業奉仕の岩間、松山両正副委員長、ロータリー財団・国際奉仕の澤田、安達両正副委員長、米山記念・青少年奉仕の鈴木敏之、千田両正副委員長の皆さんです。総勢11名で1年間活動を行

って参ります。

さて本題に入りますが、本年度の奉仕プロジェクト委員会のメイン事業は、先程の会長挨拶にもございました通り、ご自身の熱い経験、深い思いを受けて「出前授業」を実施して参ります。

因みに R.I.は、奉仕プロジェクト委員会の役割に付いて「地元及び海外の地域社会を支援する教育的、人道的プロジェクトを立案し、実行すること」と唱っております。従って私達は、今回の事業の目的を「地域社会への教育的支援」と致します。

実は、これまで3回ほど準備委員会を開き、テーマの検討及び各学校（6校）との日程調整等を行ってまいりました。

先ずテーマといたしましては、夫々の学校の希望も踏まえ、①「働くとは」を基本として②『未来問活』みんなはどう生きるか」と致しました。

日程に付きましては、先例会の全員協議会（理事会報告）で既報の通り、明後日の7月13日（木）、先陣を切って東部中学校より、開始を致します。当日のスピーカーにはご長老のお一人、日比野良太郎さんをお願いしております。先輩に於かれましては二つ返事でご快諾頂き、誠にありがとうございます。

開始の時間は6時限目に当たる2時40分、皆さんに於かれましては日にちが押し迫っているところで誠に恐縮ですが、万お障繰り合わせの上ご出席頂き、一緒にご聴講して頂きますようお願い致します。

以降の予定と致しましては、9月14日（木）犬山中学校、11月2日（木）城東中学校、11月8日（水）扶桑北中学校、1月12日（金）扶桑中学校、2月7日（水）南部中学校に順次訪問、実施して参ります。

尚、2校目以降のスピーカーに付きましては、別格の小川征一先輩を除き、我々後進となりますが一人でも多くのメンバーに講話者となって頂きますようお願い致します。

その他、従来のある事業として

1. 高齢者、在宅介護者への支援

秋の敬老週間に向けて犬山市・扶桑町の寝たきり高齢者の方々に慰問品を贈呈する。

2. 治安活動関係者への謝意

犬山警察署、犬山消防本部、丹羽広域事務組合消防本部に対して感謝の意を表す。

3. 交通安全運動への協力

年3回の交通安全県民運動に積極的に参加し、メンバー及び地域の交通安全に対する意識の高揚に努める。

4. 犬山ランニングフェスティバルに対しての協力

毎年2月に開催される犬山ランニングフェスティバルに今年も参加協力し、地域スポーツ振興の発展に寄与する。

このような事業を実施して参ります。

ここで今までに知り得た学校側の生徒に対する取り組みを少しお知らせしたいと思います。

学校側は、文科省の教育方針に則り、これまで20数年に亘って「キャリア教育」を推進してきております。これらは元々の「働く」と言う意に加え、生徒の自立心向上を狙ったものと受け止められ、それらが最近では、管内の中学に限らず、その指導の在り方に変

化が見られつつあると言われています。具体的には、生徒自身が、例えば「自分たちが住んでいる町の未来」「地球の未来」そして「自分達の未来」を自ら考え、そこから湧き出た理想と現実との差異を自らの口で問題として発し、自分事として捉えていく。このことは、何も子供に限ったことではなく、私達大人の問題でもあります。

幸いにも我が犬山クラブには、各方面に亘り大勢の先達がおられます。観光・経済の分野で、人権・人道啓蒙の分野で、ロータリーにあっては地区のリーダーとして、それこそ多士済々です。この後は、「出前授業」のスピーカーを募って参りますが、事前に稲垣流ファイヤーストームミーティングでも遣りながら情報交換をし合って頂きたいと思っております。

以上で事業計画の発表といたします。



全員協議会（稲垣 圭次会長）

本日の全員協議会は、前年度の決算報告です。原直前会長に報告をお願いいたします。

◎2022-2023 年度会計報告

（原 正男 直前会長）



2022～2023 年度 最後の提案となります。会計報告をさせていただきます。

6月30日にRC事務局において旧4役、会計の近藤斉宏さん、監査の住野龍之介さん、朱宮新治さん、事務局の高垣さんと会計監査を行いました。

それを受けて7月4日の第20回の理事会におきまして承認されました。

只今より会計報告を近藤会計よりしていただきます。

☆近藤斉宏 直前会計より、詳細説明



（原直前会長）

ありがとうございました。引き続き住野監査委員長より報告していただきます。

☆監査報告（住野 龍之介 直前監査）



それでは監査報告をいたします。6月30日（金）に4役立会いのもと、朱宮監査副委員長と2名で監査を行いました。帳票および関係書類を精査し、一点の曇りもなく処理され、正確に報告書へ記載されていましてので報告いたします。

（原直前会長）

ありがとうございました。只今、会計報告および監査報告をいたしました。これらについて、何かご意見、ご質問のある方は、挙手にてお願いします。

（異議なし）

ご意見、ご質問が無いようですので、ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

（拍手）

拍手多数により本会計は可決、承認されました。

1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



ご 報 告

○「『未来問活』みんなはどう生きるか」（出前授業）

7月13日（木）犬山市立東部中学校校体育館において、1、2年生を対象に「『未来問活』みんなはどう生きるか」（出前授業）を開催。

スピーカーとして、日比野良太郎パスト会長に講演していただきました。

